

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -177	2021/10/28	Repairs to USS Connecticut Could Cause 'Perturbations' in Public Shipyards	USS Connecticut の修理は民間造船所に「動揺」を引き起こしかねない	USNI News 2021/10/28	 グアム島で本格修理ができないままの米攻撃原潜Connecticut ですが、米本国に回航しても状況は厳しいままのようです。計画的な修理受注だけでも手が回りきらず、工事遅延が常態化している修理造船所に Connecticut の大規模な臨時修理が飛び込むと、混乱に陥るといいます。米国の艦船修理基盤はこんなことで大丈夫でしょうか？	佐々木司
2021 -178	2021/10/29	Russia's Fourth Project 22160 Corvette 'Sergey Kotov' Starts Sea Trials	ロシアのプロジェクト 22160 コルベット「セルゲイ・コトフ」が海上公試を開始	Naval News 2021/10/29	 05哨戒艦と同じような大きさの艦ですが HS 搭載、カリブル・ミサイル を搭載しており、兵装 面では、我が哨戒艦 では全く 歯が立たない コルベットのようです。	川原梅三郎
2021 -179	2021/10/	Under the Waves: Presidents' Submarine Voyages	水面下で：歴代大統領の潜水艦体験	Proceedings 2021/10	 米国では8人の大統領が潜水艦に体験乗艦しています。日本では総理大臣が潜水艦に乗艦したことは、戦前も含めてあるのでしょうか？	岩崎洋一
2021 -180	2021/11/1	U.S. Navy's Constellation class Frigate VLS Cell Count Debate Settled	米海軍Constellation 級フリゲートの VLS セル数に関する議論が収束した	Naval News 2021/11/1	 初期の要求性能が、プログラムがスタート後にどんどん高められていくのは海自艦艇でもよくあることですが、FFG 62 でも VLS セル数の増強が議論されていたようです。ただし、単に VLS セルを増やすだけでなく艦の寸法、排水量増加に伴う大幅な設計変更インパクトには海軍も耐えられず、断念した模様です。	佐々木司
2021 -181	2021/10/18	A big future for UK shipbuilding	英国造船業の大きな未来	NAVY LOOKOUT 2021/10/18	 数年前までは、旧西側の軍艦輸出は、ドイツ、フランス、スペイン、オランダなどが殆どを占めていましたが、昨今Type 26など英国の成功例が報じられました。これは偶然の事例ではなく、英国の20年から30年後までを視野に入れた、国家戦略の成果の一部と言えるようです。この戦略は、英海軍艦艇の建造を軸に、英国の造船業を国際的にも競争力の高いレベルに引き上げようとするものです。25万箇所のセンサーが設置されたType 26に適用のデジタルツインなどの先端技術の開発・適用や高齢化が進む人材の育成・若返りなど、様々な施策を考えているようです。もちろん、ライフサイクルコストなど経費削減や開発サイクルの短縮化は大きな命題のようです。また、デジタルツインは、訓練支援や整備の合理化や近代化を容易にすることをも、活用範囲として視野に入れている点は注目するところです。日英は様々な点で共通点が多いと思います。今後も英国のこの取組みについて、情報収集し、分析していこうと思います。	本山泰之
2021 -182	2021/10/	Going Back to the Future on Defense Acquisition	装備調達のパック・トゥ・ザ・フューチャー	Proceedings 2021/10	 艦艇をはじめとする巨大防衛装備品をいかに迅速に取得、配備するか、を論じた考察です。第1 は外部の有能な研究機関を活用し取り込むこと。第2 は官側がシステム・インテグレーターの役割を取り戻すこと、と結論付けています。大切なことはコストを削減することではない、という言葉も響きます。	岩崎洋一
2021 -183	2021/11/7	China Builds Missile Targets Shaped Like U.S. Aircraft Carrier, Destroyers in Remote Desert	中国は米空母や米駆逐艦を模擬したミサイル標的を奥地の砂漠に建設している	USNI News 2021/11/7	 したたかな中国の野望の一端です。「張り子の虎」かも知れませんが。そう願いたいです。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -184	2021/11/9	Second U.S. Aircraft Carrier Missile Target Spotted in Chinese Desert	中国の砂漠で2隻目の米空母標的を発見	USNI News 2021/11/9	 昨日の続報です。 中国軍は友軍を「赤」部隊、敵軍を「青」部隊と呼称するそうです。	岩崎洋一
2021 -185	2021/11/9	Signs Point to China's Third Aircraft Carrier Launching Soon	3番目の中国空母が間もなく進水する兆候を示す	CSIS Center for Strategic and International Studies 2021/11/9	 建造中の中国海軍Type003 型空母に関する CSIS の分析記事です。現在の建造状況から半年以内に進水すると分析しています。記事には 軍民同時に建造を行っている中国造船所に外国の船会社が船を発注して資本を投資することは同時に中国海軍の近代化を援助するため熟慮が必要としています。当然のことだと思います。	佐々木司
2021 -186	2021/10/1	Aegis Baseline 10 for Joint Battle Management	統合戦闘マネージメントをするイージス・ベースライン10	Proceedings 2021/10	 イージス駆逐艦フライトIII の1 番艦「ジャック・H・ルーカス」に搭載されるベースライン10 の話です。話題のレイセオン社製SPY-6 レーダーとの接続試験を、実艦でねじり鉢巻きでやっているようです。最後のほうに出てくる、アマゾン・ウェブ・サービスと提携してクラウドを利用したデータエンジニアリング業務をしているという話にもなります。	岩崎洋一
2021 -187	2021/11/11	Navy Issues Contracts in First Step Toward \$8B to Rebuild Two Public Shipyards	米海軍は2つの海軍工廠を再建するための第一歩として80億ドル(約9,000億円)の契約をする	USNI News 2021/11/11	 80億ドル(約9,000億円)をかけた2か所の海軍工廠の近代化工事に5社が応募し、各社とそれぞれ200万ドル(約2億3,000万円)相当の契約をして、受注に向けた競争をさせるという、なんとも豪華な事業です。20年計画ということですが、これでは遅いと言う声が議会から上がっています。たしかに、中国との競争を考えれば、一刻も早く近代化工事が望まれます。日本の造修基盤への期待が今後ますます出てきそうな予感です。	岩崎洋一
2021 -188	2021/11/9	Metallurgist admits faking steel test results for Navy subs	冶金者が海軍の潜水艦用鋼材の検査結果偽造を認める	Defense News 2021/11/9	 米軍を驚愕させた原潜用船殻鋼材の強度試験結果改ざんに関する裁判のニュースです。被疑者は自分の価値基準で試験方法を勝手に変えていたようです。私腹を肥やすつもりでなくとも、自己都合で国に大損害を与える結果となりました。日本でも潜水艦の耐圧弁の強度試験結果を捏造した「Sバルブ事案」というものがありました。個人は裁かれたのでしょうか？	佐々木司
2021 -189	2021/11/11	Nuclear submarines for Australia what are the options?	オーストラリアの原子力潜水艦オプションは何ですか？	NAVY LOOKOUT 2021/11/11	 60年以上の原子力潜水艦の建造及び運用の実績を持つ、米英両国を以てしても、豪海軍への原子力潜水艦の一連の移転事業は、容易なことではないようです。予想をはるかに超える、多くの考慮事項、検討事項があり、正に「星を掴むような」事業であるように感じます。細かいこと言い出したら、きりがありません。本記事の情報を総合すると、潜水艦の建造技術は英国中心の支援になると予想されますが、武器体系は既存資産が大きいことや、相互運用性の観点から、米国製中心の流れを踏襲するのではと分析します。また、今回の決定は、少なくとも英国の関係者にとっては、全く青天の霹靂であったようですし、米国にも英国にも、本事業に取り組むだけの余力は少ないように見えます。急転直下のことであり、地政学的な合理性は高いものの、外交・政治主導の決定であったと思われる。ただ、何よりも大事なのは、国家間が政治的に安定し、一貫した姿勢で取り組むことであり、それが本事業の成否に影響するように感じました。	本山泰之
2021 -190	2011/11/9	USS Gerald R. Ford Needs Parts from Carrier Kennedy for Repairs; Navy Says 'Cannibalization' Won't Delay JFK Schedule	空母Gerald R. Fordの修理のため空母Kennedyの部品が必要; 海軍は「共食い」によってJFKの就役スケジュールが遅れることはないと言	Defense News 2021/11/9	 近年、海自艦艇では可動期間中の艦艇が故障した場合、予備品不足により定年検中の艦艇から部品を取り外して充当する事態が常態化しています。米海軍でも状況は同じようで、建造中の空母から部品等を取り外して故障対応せざるを得ないようです。常々効率的な維持整備に関する先進的な取り組みを宣伝している割には、実態は海自とあまり変わらないようです。	佐々木司

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2021 -191	2011/11/12	Integrated Deterrence: Buzz Words Or a Bold Idea?	統合的抑止:バズ・ワード(話題の言葉)? それとも大胆な考え? (訳注:統合的抑止という用語は、バイデン政権が2022年に出す予定の国家防衛戦略に盛り込もうとしている概念)	USNI BLOG Strategy 2011/11/12	 統合的抑止 (ID: Integrated Deterrence) という新しい用語がまた出てきました。核の先制不使用と併せ、バイデン政権は何処へ向かおうとしているのでしょうか?	岩崎洋一
2021 -192	2021/11/16	U.S. and Japanese Ships Hold Anti-Submarine Warfare Drills in the South China Sea	日米の艦艇が南シナ海で対潜訓練を実施	USNI News 2021/11/16	 秋も深まり、南シナ海周辺では米、日、独、豪、加、インドネシア、ブルネイなどの多国間訓練の花盛りです。海自潜水艦が南シナ海で対潜訓練を日米でするのは初めてということです。最後の方でロシア艦がバルチック艦隊からロシア太平洋艦隊に所属替えしているニュースも出ています。	岩崎洋一
2021 -193	2021/11/18	China Coast Guard Attacks Resupply Mission for Filipino Troops on BRP Sierra Madre	中国海警が座礁艦「シエラ・マドレ」上のフィリピン軍への補給活動を妨害	USNI News 2021/11/18	 国軍への中国のあからさまな「攻撃」に対し、何も言えない比軍と、一人気を吐いている外務大臣です。	岩崎洋一
2021 -194	2021/11/20	Nuclear-powered submarines will fundamentally change Australia's strategic personality in the maritime domain.	原子力潜水艦は、海洋領域におけるオーストラリアの戦略的性格を根本的に変える。	NAVY NEWS Serving Australia with pride 2021/11/20	  原子力潜水艦導入に伴う豪州国内情報です。10月末には、極東に展開した英空母打撃群に随伴していた英海軍の原子力潜水艦が豪州に寄港し、同国内での原子力潜水艦導入への議論・検討が加速しているようです。また、豪海軍の責任者には強い決意も感じとれます。原潜の寄港には、豪側国防大臣、海軍トップらが出迎え、大歓迎しています。同時期と思われる英側国防大臣の発言からも、英国のインド太平洋地域政策の中心になるのはオーストラリアであるとされ、海軍分野ばかりではなく、情報分野についても、英豪両国間には強いパイプがあることが示されました。日本と英国や豪州との関係は、友好関係にあることは間違いありませんが、広範な情報収集のもと、慎重な分析を継続していく必要があると思いました。	本山泰之
2021 -195	2021/11/	Australia and Nuclear-Powered Submarines	オーストラリアと原子力潜水艦	Proceedings 2021/11	 ブローディングス誌11月号から、オーストラリアの原潜取得に関するフリードマン博士の論説です。	岩崎洋一
2021 -196	2021/11/22	Australia Signs Nuclear Propulsion Sharing Agreement with U.K., U.S.	オーストラリアが英米と原子力機関協定を締結	USNI News 2021/11/22	 オーストラリアへの原潜導入のための原子力機関情報交換協定ENNPIA (Exchange of Naval Nuclear Propulsion Information Agreement) についての詳細(特にその保安全管理について)が記されています。	岩崎洋一
2021 -197	2021/11/23	U.S. Begins Exercise Off Japan with Canadian, German and Australian Navies	米国はカナダ、ドイツ、オーストラリアの海軍と日本近海で演習を開始した	USNI News 2021/11/23	 四国沖の南方で海自演習の一環として日米加豪独の5海軍が共同訓練を行っているということです。	岩崎洋一
2021 -198	2021/10/15	Sovereign Industrial Capability Priority and Capability Improvement Grants Programs	最強産業能力優先 & 能力向上補助プログラム	Australian Government Department of Defense Defence News 2021/10/15	豪の防衛関連中小企業の育成助成金についての、豪国防省からのお知らせです。防衛基盤育成のためにはきめ細やかな支援(助成金)が必要のようです。国防のため、自力で企業活動を継続してくれている中小企業は大切な存在であることに理解する必要があるのかも知れません。	清水隆